

北海道ニセコ高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)農業クラブ3大事業への積極的な取り組みを促す。 (2)個に応じたキャリア教育の充実を図る。  (3)資格取得の充実	(1)各行事に向け学習会の充実を図った。 (2)2年生は農業実習と観光実習、3年生は進路希望に合わせた実習を実施した。 (3)農業技術検定3級、食品衛生責任者資格取得を実施した。	・取り組みの継続	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)ニセコ町が取り組むSDG s 未来都市としての活動を学ぶ。 (2)グローバル人材育成教育の充実	(1)各教科の取り組みのなかでSDG s についての学習活動を実施した。 (2)年4回のグローバル人材育成講座を実施した。	・取り組みの継続	5
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地場産業を支える取り組み (2)地域の主要農産物の栽培課題を発見し、解決に向けたプロジェクト学習の実施	(1)地元でのインターンシップを実施した。 (2)高付加価値を見込んだ冬季のホワイトアスパラ生産や、地域で今後生産が増える見込みであるサツマイモについての栽培課題を発見し、解決に向けたプロジェクトを実施した。また、有機栽培に組み込み、有機農産物の認証を得た。	・取り組みの継続	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)地域農家、有機ワインブドウ農家での視察実習と農業実習 (2)地元6次産業との連携	(1)年2～4回の実習と視察を行いニセコにおける有機果樹栽培を学んだ。 (2)町内で6次産業化しているニセコビリカファームとの連携学習を実施した。	・取り組みの継続	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)小樽開発局と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2)エネルギー教育の充実	(1)現地学習を通じ環境に配慮した農地開発を学んだ。 (2)クボタアグリフロントでの研修や、SDG s 学習をおし持続可能なエネルギーについて学んだ。	・取り組みの継続	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2)国際交流員との食文化交流	(1)中学校との年3回のダイズ交流学習、幼児センターとの菜園交流、焼き芋交流を実施した。 (2)食文化交流を年3回実施した。	・取り組みの継続	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)ICTを用いた学習	(1)ICT機器を用いて、グローバル人材との交流や、小樽商科大学との探究学習のための遠隔学習を行った。	・取り組みの継続	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)実習に関わる安全教育の徹底 (2)実習中の災害への備え	(1)実習服・帽子・長靴・軍手の着用を徹底した。 (2)危機管理マニュアルの見直しを行った。	・農場実習中の地震、原発事故への備えを徹底する。	3